

## 女性団体連絡会と市長とのタウンミーティング



平成30年12月26日、ピアスパークしもつまセミナーハウスで、下妻市女性団体連絡会と市長とのタウンミーティングを開催しました。タウンミーティングでは、同会員27人と市長、教育長が参加して「下妻市のいま!」「下妻市の未来!」「普段の生活で感じていること」をテーマに、日常生活上の問題や改善点、下妻市の魅力について意見交換をしました。

### 女性団体連絡会の意見と下妻市の対応

#### 意見①

「道の駅しもつま」で野菜などを買い物すると重いので、カートがあるといいな



#### 対応①



「道の駅しもつま」では、商品の陳列スペースの見直しと、お客さまが歩くスペースの確保に検討を重ね、5月1日からカート30台を設置しました。

#### 意見②

大宝地区の高齢者が集う「ふれあいサロン」の活動の場として、小学校の余裕教室を利用できたらいいな



#### 対応②

大宝小学校の協力で、年2回(11月と2月)、余裕教室を使って「ふれあいサロン」の活動ができるようになりました。

#### 提案者の声

私たちサロンは60~80代の会員が多く、大宝小へは徒歩で参加できるため、年2回ではありますが児童たちと一緒に活動ができ、今から楽しみにしております。ご理解とご協力を頂いた皆さま、ありがとうございます。



#### 意見③

小学生児童の下校の安全を守るため、保護者と学校と地域の方が連携して防犯対策ができればいいな



#### 対応③



4月1日から市内小学校では、通学路の安全と防犯を目的とした「見守りボランティア」を地域住民から募っています。「緑の帽子」が目印の「見守りボランティア」は、児童と一緒に歩いたり、下校の様子を見守ったりしながら、児童の安全確保や防犯対策に努めています。現在、市内には100人を超えるボランティアの皆さんが登録されています。登録を希望される方は、お住いの地区の小学校にお問い合わせください。



## 特集：あなたの“アイデア”をまちづくりへ ～どこでも市長室・タウンミーティングの取り組み～



市では、多様化するニーズや社会情勢の変化に対応するため、市民や団体がそれぞれの役割を補い合い、共通の目的のために協力・協調する市民協働の取り組みを進めています。この取り組みとして、“どこでも市長室”“市長との対話集会”“タウンミーティング”を通じ、多様な視点やニーズを市政運営に反映しています。

“どこでも市長室”では、地域で活躍する団体などと市長が意見交換を行い「こんなまちになったらいい!」「こんなことをやってみたら?」などの積極的な提案が行われています。そして、市内3中学校区で開催される“市長との対話集会”では、区長と市長が身近な課題に対する共通理解や意見交換を行っています。また、女性団体連絡会が開催する“タウンミーティング”では、女性視点での身近な問題や未来のまちづくりに向け、市長と情報交換・意見交換を行っています。

今回の特集は“どこでも市長室”と“タウンミーティング”の取り組みを紹介します。

あなたの“アイデア”をまちづくりに活かして、市民が主役のまちづくりに参加してみませんか。

問 市民協働課 ☎43-2114 FAX 43-1960

### 私たちがめざす“まちづくり”

もっともっと下妻市を「私たちの誇れるまち」「多くの人に愛されるまち」にするために市民の皆さんの意見・アイデアが必要です。

未来の下妻市のために私たちにできること 下妻市の未来像を一緒に話しましょう! まちづくりの主役は市民の皆さまです!

下妻市長 菊池 博



### ≪“市民が主役のまちづくり”のイメージ≫

